

本センターは、2013年度より越境地域政策研究の基礎的研究、社会的実用研究を促進するとともに、研究成果の全国への波及を目指し越境地域政策研究フォーラムを毎年開催してまいりました。

こうした中、2024年1月に発生した能登半島地震と大規模火災により輪島朝市は壊滅的な被害を受けました。輪島現地での輪島朝市の再開は能登半島の復興を牽引するものであり、一刻も早い復興が期待されています。このような現状をふまえ、今回の越境地域政策研究フォーラムでは、基調講演として「災害復興とまちづくり」についてお話いただくほか、分科会では、「なりわいの復興」に関するパネルディスカッションを行います。また、文化財の保全・活用とGISとのかかわりについて議論が行われます。

あらゆる境界を越えようとする、越境地域政策に関心を持つ皆様のご参加をお待ちしております。

日時:2026年 2月28日(土) 10:00～ オンライン開催

10:00～12:00

午前の部

あいさつ 広瀬 裕樹（愛知大学学長）

趣旨説明 戸田 敏行（愛知大学三遠南信地域連携研究センター長）

■ 基調講演「災害復興とまちづくり」

姥浦 道生氏（東北大学 災害科学国際研究所教授）

13:30～17:00

午後の部

計画行政コア:パネルディスカッション「なりわいの復興」(13:30～)

◇コーディネーター: 戸田敏行(愛知大学地域政策学部教授)

【パネラー】

- ・橋本三奈子氏(出張輪島朝市 事務局長)
- ・森山奈美氏(株式会社御祓川 代表取締役社長)
- ・江田隆三氏(株式会社地域計画連合 代表取締役社長)
- ・姥浦道生氏(東北大学 災害科学国際研究所 教授)

分
科
会
1

地域システムコア:文化財の保全・活用とGIS研究(15:20～)

◇コーディネーター: 駒木伸比古(愛知大学地域政策学部教授)

【報告】

- ・豊橋市文化財保存活用地域計画の紹介: 村上 昇氏(豊橋市文化財センター)
- ・Web-GISを活用したメソポタミア遺跡マッピングプロジェクトの紹介と展望
: 宇佐美智之氏(京都芸術大学)・小泉龍人氏(メソポタミア考古学教育研究所)
- ・GISでみる豊橋祇園祭の継承システム
: 佐藤弘隆(愛知大学地域政策学部准教授)

【パネルディスカッション】

分
科
会
2

参加申込み

右のQRコードを読み取ると、WEB参加申し込みページに移動します。
ページ内からWEB参加の登録をしてお参加ください(メールアドレス必須)。

下記URLの三遠南信センターHP内、フォーラム案内ページ内の
リンクからも参加登録できます。

<https://edu.aichi-u.ac.jp/san-en/info/1584>



◆お問い合わせ先

愛知大学
三遠南信地域連携研究センター

〒441-8522
愛知県豊橋市町畑町1-1
TEL:0532-47-4157
FAX:0532-47-4576
E-mail:
sen-center@m1.aichi-u.ac.jp